

吾妻山の規制について お知らせします



▲浄土平周辺

昨年末、吾妻山の噴火警戒レベルが「平常」から2「火口周辺規制」に引き上げられてから、市では入山禁止の看板を設置し、注意喚起を行ってきました。

磐梯吾妻スカイラインの再開通からは、火口周辺規制をレベル2に応じた500mにします。

問／危機管理室 ☎525-3793

これまでの経緯

地下でマグマや地下水が動いて起こる火山性微動が観測され、火山性地震も増加したことから、気象庁は、平成26年12月12日、吾妻山の噴火警戒レベルを1「平常」から2「火口周辺規制」に引き上げました。

それを受け、市では冬季閉鎖中の磐梯吾妻スカイラインの入口や登山道に入山禁止の看板を設置し、登山者などに注意を呼び掛けました。

吾妻山の火山状況

仙台管区気象台は、定期的に吾妻山の火山状況に関する情報を発表していますが、それによると噴火警戒レベル2「火口周辺規制」が継続しています。

また防災上の警戒事項として、次の3点が示されています。

- ① 大穴火口から概ね500mの範囲では、小規模な噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒する。
- ② 地元自治体などの指示に従って危険な地域には立ち入らない。

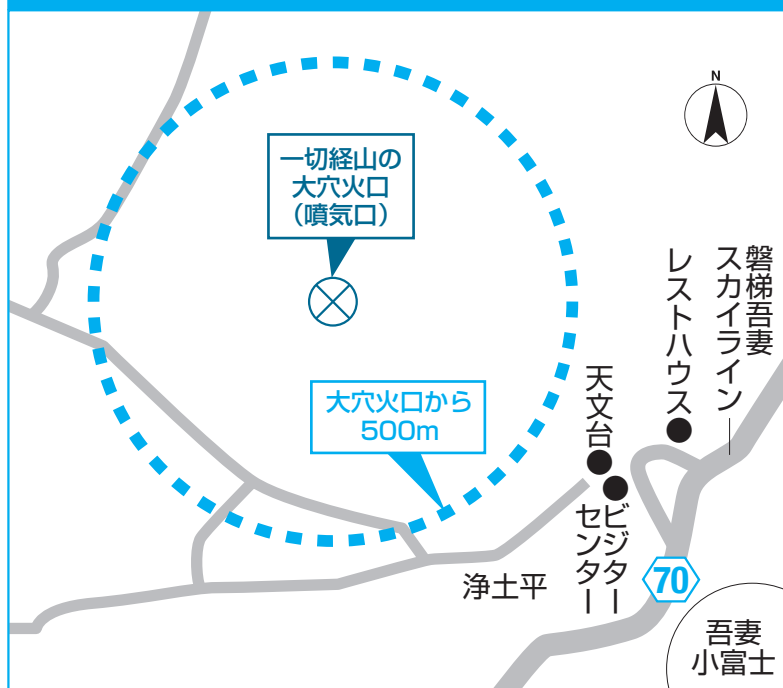
③ 大穴火口の風下側では、降灰および風の影響を受ける小さな噴石、火山ガスなどに注意する。

今後の市の取り組み

① 磐梯吾妻スカイライン再開通の日にあわせて、入山禁止の規制を解除し、吾妻山噴火警戒レベル2の対応である火口周辺規制500mにします。

- ② 火口周辺500mの範囲が誰にでも分かるよう表示します。
- ③ 再開通後の磐梯吾妻スカイラインの安全対策を道路管理者と協議して決定していきます。
- ④ 観光客や登山者の安全に万全を期するため、避難マニュアル、チラシを作成します。

大穴火口周辺の規制範囲



※破線 ■■■ 内が入立規制の範囲です。

防災と災害情報メールマガジンをご利用ください

災害情報などをお知らせするメール配信サービスを行っています。メールアドレスを登録すると、情報を受け取ることができます。 ●問／危機管理室 ☎525-3793



臨時災害 ラジオ放送

万一災害が発生した場合、市では、FMポコ(76.2MHz)を「臨時災害ラジオ放送局」として、避難所やライフラインなどに関する緊急情報をお知らせします。 ●問／危機管理室 ☎525-3793